

教育研究業績書		
令和7年5月1日 氏名 松本 勇治		
研究分野	研究内容のキーワード	
健康・スポーツ科学	体育・レクリエーション・バレーボール	
教育上の能力に関する事項		
事 項	年 月 日	概 要
1. 教育方法の実践例 ・ 野外活動 ・ 表現活動	平成15年～平成30年 平成30年～現在	「体育Ⅲ（こども教育コース）」の授業において、1泊2日の野外活動を実施。テント設営や飯盒炊飯・海浜活動などの野外活動を体験することにより、安全面に対する配慮や企画力・運営力が身に付いた。 「体育Ⅲ（こども保育コース）」の授業において、「音楽（声楽）Ⅲ」・「美術工芸Ⅲ」の授業と連携を図り、総合表現としてオペレッタ等を制作し県内の保育施設で公演を行った。
2. 作成した教科書、教材		
3. 教育上の能力に関する大学等の評価 ・ 優秀授業賞「体育実技」	平成28年8月	学生による授業評価により（平成27年度）
4. 実務の経験を有する者についての特記事項		
5. その他		
職務上の実績に関する事項		
事 項	年 月 日	概 要
1. 資格、免許 高等学校教諭一種免許状（保健体育） 中学校教諭一種免許状（保健体育） レクリエーションインストラクター レクリエーションコーディネーター	平成3年3月 平成3年3月 平成8年11月 平成11年5月	福岡県教育委員会（平二高一第五〇九号） 福岡県教育委員会（平二中一第三六八号） 日本レクリエーション協会公認資格 日本レクリエーション協会公認資格

バレーボール指導員 バレーボールコーチ	平成 18 年 10 月 平成 19 年 10 月	日本体育協会公認資格 日本体育協会公認資格
2. 特許等		
3. 実務の経験を有する者についての特記事項		
4. その他 ・非収容少年に対する情操の かん養、心情安定等を促す指導（体育指導） ・「体育遊び教室」講師 ・佐賀市市民総参加子ども育成運動推進委員会委員	平成 15 年～現在 平成 28 年～現在 平成 30 年～令和元年	佐賀少年鑑別所 付属ふたばこども園 家庭分科会

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1 2 ⋮				
(学術論文) 1 バレーボールゲームにおける選抜チームのチームづくりに関する事例研究 2 バレーボールのファーストトランジションにおけるパフォーマンスとゲームの勝敗に関する研究－大学女	共著 共著	平成 27 年 7 月 平成 28 年 6 月	スポーツパフォーマンス研究 2015 Vol.7 (P195－P212) バレーボール研究 2016 Vol.18 (P19－P26)	平成 21 年度西日本大学バレーボール 5 学連選抜対抗戦における九州選抜女子チームの優勝までのチームづくりの過程について検討、考察。 箕輪憲吾、 <u>松本勇治</u> バレーボールにおけるファーストトランジションのプレー内容に関して、ゲームの勝敗との関連から比較、考察。 箕輪憲吾、今丸好一郎、 <u>松本勇治</u>

子チームを対象としてー				
3. 佐賀県における子育て支援員研修の成果と課題～実施概要とアンケート調査の結果から～	共著	平成 28 年 7 月	佐賀女子短期大学研究紀要第 51 集第 1 号 (P213-230P)	佐賀女子短期大学で実施した子育て支援員研修の受講者に対し、教科ごとにアンケート調査を実施し、受講前後の理解度の変化について報告。 菅原航平,古川隆幸,田口香津子 小川鮎子,山田久三江, <u>松本勇治</u> 大江登美子
4. 大学女子バレーボールゲームにおけるコンビネーション攻撃に対するファーストトランジションに関する研究ーファーストテンポとセカンドテンポのスパイクについてー	共著	平成 29 年 6 月	バレーボール研究 2017 Vol.19 (P43-P50)	バレーボールゲームにおける相手レセプション後のコンビネーション攻撃に対して、ブロックとディグからスパイクで攻め返すファーストトランジションにおけるパフォーマンスとゲームの勝敗の関連について考察。 箕輪憲吾,今丸好一郎, <u>松本勇治</u>
5. 小学校教育実習における体育科の学習指導について	単著	令和 4 年 3 月	佐賀女子短期大学研究紀要第 56 集 (P105-P110)	小学校教育実習を終えた学生を対象に、実習の概況と実習中の体育科の学習指導の実態についてアンケート調査を実施した。また、アンケート結果と体育科教育法内で実施した模擬授業後の感想を比較し検討を行った。
6 .認定こども園における「体育あそび」について	単著	令和 4 年 8 月	佐賀女子短期大学研究紀要第 57 集 (P57-60)	佐賀市内の認定こども園での「体育あそび」の講師としての活動から、活動内容活動中の園児の姿、今後の課題について報告した。
7. 保育現場とつくる協働体制 (1)	共著	令和 5 年 3 月	佐賀女子短期大学研究紀要第 57 集第 2 号 (P141-148)	保育士資格と幼稚園教諭免許状を取得するための保育実習及び教育実習では、実習前は事前指

～学生から保育現場に向けた実習事後アンケートの報告から～				導として現場との関わりはあるが、実習終了後の現場との関わりは特に規定されていない。そのため、新たな取り組みとして実習終了後のアンケートを学生から現場へ発表した。そのことについて、学生によるアンケートの結果と発表した感想、参加された現場の方の感想の報告を行い、より効果的な共働体制の構築に向けた課題を探った。 相浦雅子,池上奈摘,大江登美子,<u>松本勇治</u>
8. 保育現場とつくる協働体制 (2) ～学生から保育現場に向けた実習事後アンケートの報告から～	共著	令和6年3月	佐賀女子短期大学 研究紀要第58集第2号 (P135～140)	保育士養成において、特に「実習指導」は、保育現場との協働が必要不可欠である。本学では、令和5年度から保育実習を終えた学生による保育現場に向けた「保育実習を終えて～学生たちからの情報伝達～」を実施している。令和6年度は県内外の保育施設や養成校の教員の参加もあった。発表した学生の感想の報告と保育現場や養成校の感想の報告を行い、協働体制に向けた課題について考察した。 池上奈摘,<u>松本勇治</u>
(その他) 1 2 ⋮				